

---

# 人肉海岸にて

HS

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

人肉海岸にて

### 【Nコード】

N7948F

### 【作者名】

HS

### 【あらすじ】

これは、夢で見たとてもシュールなお話です。PC版では背景にイラストが付きまゝす。

海辺に、人肉釣りをしている私と彼女がいました。私たちは、人肉がよく釣れるこの「人肉海岸」で日々、自給自足の生活を送っているのです。

なぜ、ここで人肉がこんなにも釣れるのか、私たちには検討もつきませんでした。大きな流木に二人で寄りかかって座るのが、私たちのいつものスタイルです。

今日はもう2体ほど棹にかかり、引き上げたのですが、まあまあ、食べれそうな感じです。

そして、さつそく3体目が……。

でも、ちょっと軽いようです……。

引き上げてみると、それは中学生の少女みたいで、さすがにこれを食べるのはかわいそうだと、ロリコンは思いました。

まだなんとか蘇生できそうな、きれいな肌の色をしていたので、一応、人工呼吸を試みました。

はじめてのことでしたが、意外とできるものだと思いました。一向に反応がなく、やはり素人ではダメかと思いましたが、気づくと、さわやかな澄んだ瞳でこちらを見つめています。

少女は起き上がると、いろいろ事情を話してくれました。  
はつきりした話し方で、素直ないい子なのだとわかりました。

どうやら両親の仲がとても悪く、絶望して、自殺を試みたようなの  
です。

でも、今はなぜだか、とてもスッキリした気持ちのようです。

「ありがとうございます」

少女は浜辺から高台に上がるドームのような螺旋階段を登っていきます。

「またなにかあったら、来いよ！いつでも・・・！」

たぶん、ここにいますから」

少女は軽くうなずくと、明るく帰っていきました。

たぶん、希望的なことばかりではないとは思っけど、  
また、私たちに釣られるとも限らないのだから・・・。

（後書き）

おバカな文章を最後まで読んでいただき、ありがとうございます。  
生きることは、苦しいこともあるけれど、きっとその中に暖かいものもあると思うんです。（作者）

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7948f/>

---

人肉海岸にて

2010年12月18日16時57分発行